

令和3年度 ことばの冒険の旅「私のおすすめの本」コンクール
優秀賞（ことばの冒険者賞）

「いいね！」筒井ともみ 作

銚子市立双葉小学校4年 垣沼 空依

今、つまらないなあと感じている人におすす すすめします。

この本は、ぶあつく話が長いように見えま すが、二十話の短い「いいね！」の物語がの っています。ヨシタケシンスケさん特有の絵 も少しずつ入っていて、一つの話を読んだら 次が気になり、もう止まりません！

一つ話をしょうかいします。「さびしいっ ていいね」というお話です。

この話の主演はナナコという女の子です。 ナナコのパパは仕事で外国へ行ってしまいま した。ママもお兄ちゃんも仕事や高校受験で 忙しく、ナナコはすごくさびしいのです。

私にもお姉ちゃんがありますが、高校生なの でいっしょに遊んだり、おそろ

いの服を着た りすることができなくてさびしいなと思うこ とがあります。一緒に遊ん でくれる友達や、 2 どころか楽しい所へ連れて行ってくれる家族が いないということはさ びしくていやなこと ですよ。みなさんもそういうさびしい思いを したことはありませんか？

ナナコはこういう時は、こう考えます。話 し相手もパパもいなくても、「早く会いたい！」 という気持ちで心をいっぱいにして、「 会ったらなにしよう？なにを話そう？」と考え、楽 しいことで心をいっぱいにします。

このように、「いやだなあ」「これをして なにになんの」ということでも、見方を変える とちがう考え方が生まれます。ちがう考え 方をしてみると、違うお友達ができたり、知ら なかったことがわかったりして発見があり ます。さびしいことも「いいね！」に変えるま ほうを私はこの本からを見つけました。

みなさんは今、「いいね！」と思うことが いくつありますか？この本を読めば、二十こは ぶえますよ。

講評

本を読んで色々なことに気づき、いつも読書を楽しんでいる様子が目に浮かびます。見方を変えるとちがう考えが生まれることまで知っているなんて…。あと19個はいい…。